

うに郷通信

No.162
令和5年(2023)1月

発行：宇仁郷まちづくり協議会（編集：情報部会）

年頭のご挨拶

会長 稲木善英



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。

宇仁郷まちづくり協議会は昨年もコロナ禍のためイベント等を縮小して事業を推進して参りましたが、地産地消をモットーとする朝市は年末年始に1回休んだだけで、コロナにも負けず1年間頑張り抜きました。

宇仁ふれあいバスはパンク故障が1件ありましたが、全員が無事故で1年間安全運行しました。お客様の定着が進み、乗車率は一昨年を上回る状況です。

花畑街道部会は春と秋に各5,000本の花苗を桜井ハウスで育成して、6町、学校、協力企業、公園等に配布しました。（子育て支援センターではこの花苗を学童保育をしている旧幼稚園に植え付けています。）また、7月の暑い中、区長さん、地区役員さん、ボランティアさんたちにご協力をしていただき「アドプト事業」を実施しています。

宇仁郷歴史資料館の会議で、校長先生より「協議会との交流で小学校や地域の歴史、文化についての認識を深めたい」との提案がありました。それを受け6月に協議会より5人が参加して、4年生との「交流学习会」が実現しました。勉強を重ねた4年生が「宇仁っ子ふるさとガイド隊」としてコスモス祭りで素晴らしい発表をしてくれました。

ふれあい交流広場部会は、少人数ですが「ほっとトーク」で若いお母さん方が子育てやご近所付き合い等の話をしながら交流をしています。また小筆教室では「筆も口もたつ」女性たちが、和気あいあいと熱心に練習を重ねています。

残る5部会も今回紹介した部会に負けず劣らず熱心に事業を推進していることを紹介して報告いたします。

最後になりましたが本年も皆様方よりのご支援とご協力を宜しくお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

宇仁っ子フェスティバル2022～再発見！地域の魅力と絆～



とても和やかで良き時間をありがとう“宇仁っ子フェスティバル”

11月26日(土)、宇仁小学校で「宇仁っ子フェスティバル」が開催されました。昨年までの「さつまいも祭り」を改めて企画構成も一新されたとのことですが、さつまいも祭りの良き伝統も十分に受け継がれていました。

指揮・伴奏などすべて子どもたちによる全校生合唱「夢の世界を」に心を奪われ、1年生2年生による「なつやさいをそだてたよ」からは笑顔を、3年生の「ワタ工場」では収穫した綿の種を、4年生からは宇仁の歴史を、5年生からはおもてなしを、6年生からは未来ある加西の提案を、おひさま学級・わかたけ学級からは心温まるギフトを、本当にたくさんたくさんいただきました。

言い切ります“宇仁っ子フェスティバル”大成功と！

(宇仁小 PTA)

小学校に神楽が来たよ！

菅野校長先生から「伊勢大神楽が11月21日12時50分ごろに来ます。皆さん誘い合って見に来てください。一緒に見ましょう。」とお誘いがありました。久しぶりの獅子舞を見れる嬉しさで、近所のおじさんとおばさんを誘って学校に着くと、車のそばで獅子の準備中!! 慌ててホールに入って獅子の登場を待ちました。

小学生たちが待つホールに笛、太鼓、鈴の音色に乗って2頭の獅子登場！ 右に左にと入れ替わりながら2頭の獅子が舞うのを、小学生たちは固唾をのんで見入っていました。傘の曲芸や刀の曲芸もしてくれ、普段学校で見られない神楽を見ることが出来たと児童代表がお礼を言っていました。最後に厄除けに小学生も、地域の方々も頭をを噛んでもらいました。

伊勢大神楽は昔、伊勢神宮に参詣できない人のために無病息災・家内安全のお祓いをし、代わりに神楽を奉納し神札を配布するという説があります。

「これでまた1年無事に過ごせる」とおじさん、「昔は一か所に集まってよう見たもんや、懐かしかったなー。もう見られへんと思っとったのに見られて嬉しかった」とおばさん。久々の楽しいひと時でした。

(参加者の一人)



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達⑩

宇仁郷まちづくり協議会

2. 女性が活躍するふれあい交流広場が誕生

兵庫県は阪神・淡路大震災の復旧に全国からのボランティアの支援等の経験から、心の通じ合う絆活動が地域社会を支える大切さを学び、県下の小学校単位に立ち上げた「スポーツクラブ21」の成果をふまえ、平成18年4月、井戸知事が元気で安心な地域づくりを目指す「県民交流広場」を県下の小学校単位に設ける5年計画の事業がスタートしました。

その後、加西市の平成20年3月「男女協働参画都市宣言」をふまえ、地域の活性化を市の自治参画課が窓口になり市内小学校区の団体に呼びかけました。宇仁地区においては女性グループの活動を展開するため資金集めに苦慮していましたが、加西市が提唱する「現代版井戸端会議」に稲木秀子女性グループ代表が応募し、活動資金の目途が立ちました。

女性有志による井戸端会議の実践結果をふまえ、11月28日と12月8日、「ふれあい交流広場」の立ち上げについて加西市が宇仁6町の各種団体への説明会を開催し、サポーターを募り呼応した21人の構成員でスタート出来る運びとなりました。

平成23年1月24日協議会役員会で、ふれあい交流広場部会長 岡本優、副部会長 荒田正克、ふれあい喫茶グループ代表 稲木秀子、宇仁うたごえ広場グループ代表 宇仁妙子、ほっとトーク(読み聞かせ)グループ代表 繁田由見子さんの3グループが了承され活動がスタートしました。



平成 25 年頃のうたごえ広場



平成 26 年頃のふれあい喫茶



平成 25 年頃のほっとトーク